



あぐい議会 だより

No.195

令和4年11月1日発行



草木

坂部

阿久比谷虫供養の受け渡し
坂部から草木へ



P2・3 第4回臨時会・第3回定例会

P11 追跡レポート あの答弁はどうなった！

P4 令和3年度決算状況

P12 私は言いたい！町民の声

P7~10 一般質問



自治体と地域住民をつなぐアプリ「マチイロ」に「あぐい議会だより」を掲載しています。

令和4年 第3回定例会

主な議決内容

会期／9月1日～9月16日
議案／条例等4件、補正予算7件、認定6件、
同意2件、意見書1件、報告1件、陳情2件

○賛成 ×反対 一議長

件名		小柳みゆき	澤田道孝	瀧塚政明	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	新美三喜雄	山本恭久	大村文俊	都築清子	久保秋男	渡辺功	結果	
議案	43	阿久比町立阿久比スポーツ村整備基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	44	阿久比町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	45	阿久比町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	46	阿久比町税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	47	令和4年度阿久比町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	48	令和4年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	49	令和4年度阿久比町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	50	令和4年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	51	令和4年度阿久比町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	52	令和4年度阿久比町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
認定	53	令和4年度阿久比町水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	1	令和3年度阿久比町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	2	令和3年度阿久比町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	3	令和3年度阿久比町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	4	令和3年度阿久比町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	5	令和3年度阿久比町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	剰余 可決 決算 認定
同意	6	令和3年度阿久比町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	剰余 可決 決算 認定
	1	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意
意見	2	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意
	1	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	提出
報告	2	令和3年度阿久比町健全化判断比率及び資金不足比率について														
陳情	13	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情														
	14	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書														

令和4年 第4回臨時会

主な議決内容

会期／8月1日
議案／条例等1件、補正予算1件

○賛成 ×反対 一議長

件名		小柳みゆき	澤田道孝	瀧塚政明	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	新美三喜雄	山本恭久	大村文俊	都築清子	久保秋男	渡辺功	結果	
議案	41	令和4年度阿久比町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	42	備品購入契約の締結について(電子黒板等購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決



あーさん

令和4年 第3回定例会より

「第43号阿久比町立阿久比スポーツ村整備基金条例の制定について」って何？

9月1日の地元紙に掲載された**12億円超の寄付金**は、旧スポーツ医・科学研究所からの寄付！これを基金に積み立ててスポーツ村交流センターをはじめとしたスポーツ村全体の整備のために使うんだって。



←さん



あーさん

「第47号令和4年度阿久比町一般会計補正予算（第6号）」は、令和4年度の予算が約**15億8215万円**も増えたのは何故？

スポーツ村の12億円超の寄付金を基金におくのは特別大きいけど、残りの3億円は国や県から預かったお金の残金を返したり、学校管理費（来年度のタブレット52人分、中学校の机・椅子240セット購入等）社会福祉費（介護施設等整備事業費、心身障害者福祉事業費）等も含まれているよ。



←さん



あーさん

令和4年 第4回臨時会より

「第41号令和4年度阿久比町一般会計補正予算（第5号）」の議題は何？

7月10日と12日の豪雨で起きた災害の復旧工事等のために予算を追加することについてだよ。



←さん

同意

固定資産評価審査委員会委員の選任について（再任）

つ づき きよ し
都 築 清 士 氏（大古根）

同意

教育委員会委員の任命について（再任）

たけ うち けん じ
竹 内 賢 司 氏（草木）

令和3年度 一般会計決算

歳入 113億2,279万7千円 (前年度比 22.2%減)

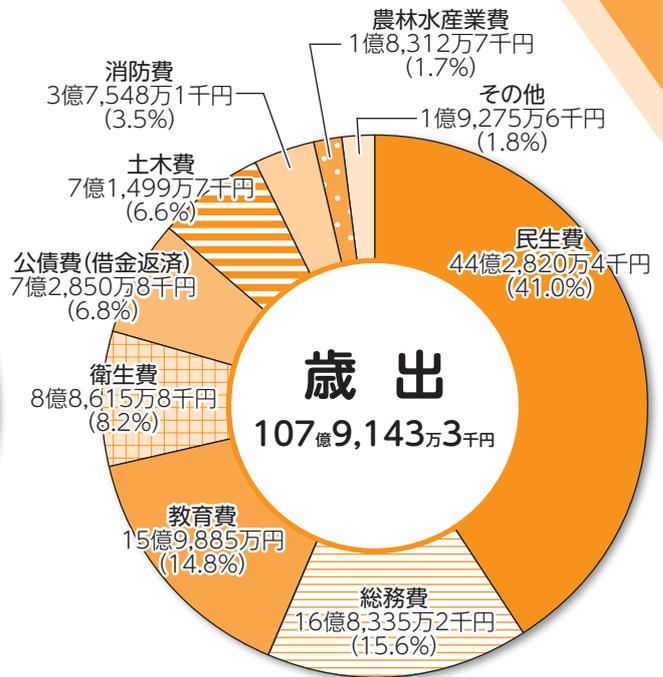
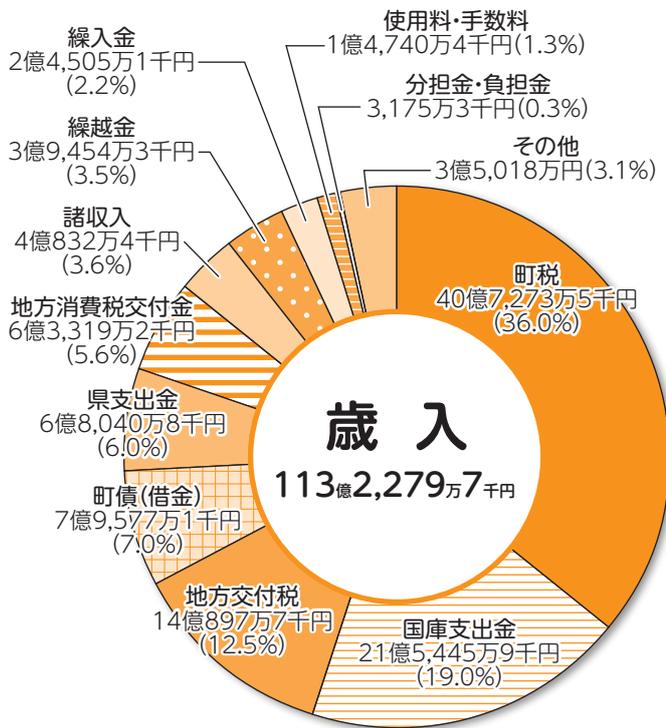
町税：3.5%減／個人4.1%減法人17.4%減固定資産3.5%減
 国庫支出金：50.8%減／特別定額給付金事業の完了
 町債：57.5%減／新学校給食センター建設事業及び防災行政無線デジタル化事業の完了

歳出 107億9,143万3千円 (前年度比 23.7%減)

増えた 民生費：20.9%増／子育て世帯臨時特別給付金事業
 衛生費：16.1%増／2回目3回目新型コロナワクチン接種事業
 土木費：7.6%増／道路橋梁維持事業費の道路補修及び橋梁等点検

減った 総務費：60.4%減／特別定額給付金事業の完了
 教育費：45.9%減／新学校給食センター建設事業の完了
 消防費：39.0%減／防災行政無線デジタル化事業の完了

令和3年度 決算報告



令和3年度 特別会計決算

(千円)

区分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	コメント
国民健康保険	2,463,918	3.52%増	2,395,027	4.26%増	保険給付費が4.63%増
介護保険	2,016,975	5.05%増	1,870,722	4.94%増	保険給付費が5.67%増 地域支援事業「ささエール」を実施
後期高齢者医療	413,599	1.08%増	412,236	1.00%増	医療給付費が4.96%増 均等割額・所得割合とも2年毎負担増

令和3年度 企業会計決算

(千円)

区分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	コメント	
水道事業会計	収益的収支	605,139	0.64%減	504,823	11.32%減	健全経営の水準を維持(経常収支比率119.79%) 料金回収率高く必要経費不足はない
	資本的収支	20,720	67.05%増	117,973	7.71%減	
下水道事業会計	収益的収支	533,736	0.89%増	517,890	1.47%増	健全経営の水準を維持(経常収支比率102.32%) 経費回収率は低く一般会計繰入金で補填
	資本的収支	179,174	7.49%減	324,660	0.23%減	

常任委員会 視察レポート

総務
建設

9月9日 豪雨災害現場視察

7月10日、12日に起きた災害の現場へ行って来ました。

今回の災害では、各所とも命にかかわるような最悪な状況はなかったようです。でも今後どのような大きな災害が起きるかわかりません。「町民の命を守る」という阿久比町の施策を、私も議員もしっかりと検証していきます。



板山石亀川西側法面崩落現場

9月22日 武豊町ごみ行政視察

この日は、ごみ行政の視察で武豊町に行きました。刈草剪定枝リサイクル工場では刈草剪定枝を町民の方が直接持ち込んで、枝、草幹、根をそれぞれのコンテナに無料で入れておられました。ごみはゴミとしてではなく、資源として有効利用する事でリサイクルになるとのことでした。

ごみ焼却施設や、温水プールも立派で、予算があればいろいろな施設が作れる。そういった印象を持ちました。武豊町の視察で最も印象的だったのは、エコステーション（資源ごみ収集場所）です。現在2か所のエコステーションが稼働しており、後に2か所追加して4か所となるよう



土日も利用できるエコステーション

(副委員長 山本良輔)

です。土曜日や、日曜日のような休日にも受け入れていきます。

阿久比町にもこのようなエコステーションがあったらどうでしょう。家庭に長く保管する必要がなく、非常に便利だと思います。阿久比町民の皆様はどうお考えでしょうか。

教
厚
生

9月12日 中学校・交流センター 中学校通学路変更視察

今回の視察は、阿久比中学校、交流センター、中学校通学路変更に伴い、変更された通学路の現地調査を行いました。

阿久比中学校では基礎工事中の校舎増築工事が行程どおり順調に進んでいることを担当課より、電子黒板を活用して授業をしている様子を見学し、電子黒板を活用すればリモート授業も可能になることを、校長先生から説明を受けました。

交流センターでは、6月27日～9月4日までの70日間のプール利用者が、延3千346人、1日平均48人であったこと、また温水

化についての課題の説明が担当課よりありました。

最後に、変更された通学路の現地調査を行い、担当課より立看板設置、通学路注意等の道路標示の安全対策の説明を受けました。



交流センタープール



通学路の立看板

(副委員長 竹内卓美)

常任委員会レポート

総務建設

問 原因の特定はできなかったが、使用開始から7年目であり、電化製品ではそういったことがあると聞いている。

阿久比町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

問 町長が定める特別な理由とは。

答 保育園の利用を希望するも入園できなかった場合や、配偶者等が負傷等により養育が困難な状態になった場合など。

令和4年度阿久比町一般会計補正予算(第6号)

問 庁舎多目的トイレ温水器の修繕は、まだ新しいと思うが、壊れた原因。

答 ペットボトル、廃

令和3年度阿久比町一般会計歳入歳出決算認定

問 防犯灯新設工事について、前年度比1基増で金額が倍近くになっている要因。

答 中学校の通学路に2基の新設があった。通学路については支柱から設置しており、他の設置場所についても支柱を立てなければ対応が出来なかった部分があったため、その分増額となっている。

問 資源ごみ分別収集等委託事業費が、前年度に比べて3.5%増加している原因。

答 プラスチックの処理量が増加しているため。処理費の単価が上がっているのではない。

問 資源ごみの報奨金は地域の大事な活動費である。分別ごみの金属類25%減少は盗難が原因ではないか。この盗難に対して積極的な策を講じる必要があると思うが。

答 盗難は複数の地区からも情報が入っており、警察に情報を提供している。町の対策としては「資源ごみ等持ち去り防止に関する条例」があり、違反者には5万円以下の過料を課すことになっている。地域で不審者や、不審車両を目撃したら、町へ連絡してほしい。町から警察に対して、取り締まり強化をお願いする。

(副委員長 山本良輔)

文教厚生

9月9日に総務建設委員会を、12日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

令和4年度阿久比町一般会計補正予算(第6号)

問 中学校備品購入費、抗菌機240セットの購入は、校舎増築分という事だが、増築分のすべてのクラスに入る数か。

答 増築している校舎の、40人・6クラス分の机・椅子の数。

問 今回、抗菌機に対応しないクラスは、今後抗菌機に変更していく予定はあるか。

答 今後、机や椅子が壊れた時に、抗菌のものを購入していきたい。

問 抗菌機の、抗菌部分に関してメンテナンスは必要か。

答 抗菌剤が塗布してあるという説明なので、ある程度は耐用年数があると思う。メンテナンスが必要かは、勉強していく。

令和3年度阿久比町一般会計歳入歳出決算認定

問 子ども用品リニューアル事業は、かなり古くから取組んでいる。利用度、期待度はどうか。

答 子ども用品リニューアルは、平成25年度から行っている。当初は入場制限等のない状態で行っていたので大盛況だったが、この2、3年はコロナの関係で人数制限、予約制で行っている。人数は少

し減っている感じがするが、コロナが終わって人数制限等がなくなれば、みなさん来ていただけると思う。用品の受け入れは、現在中止しているが、使って下さいと届けていたこともあり、みなさん関心のあることと思っている。



中学校校舎増築工事

(副委員長 竹内卓美)

ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う



今議会では、9月2日(金)に、3人の議員が一般質問を行いました。
 一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずぬるものです。事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。
 持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。
 次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1ページで、掲載しています。

今回の傍聴人数 延べ **31**人

ページ	議員名	質問項目
8	都築 清子	1. 防災と福祉の連携 2. 災害時を想定した環境整備
9	澤田 道孝	1. 新型コロナウイルス等の相談窓口を設置できないか 2. 非核平和都市宣言
10	新美三喜雄	1. 災害対策 2. 次世代につなぐ

答弁者

総…総務部長
 民…民生部長
建…建設経済部長
教…教育部長

🌱 各議員が質問した記事に関連するSDGsの目標アイコンが掲載されています。

防災と福祉の連携を



個別避難計画を早い段階で検討する

令和3年災害対策基本法の改正で災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため「個別避難計画」を作成することが市町村の努力義務とされたが本町は作成に着手していない。

問 避難行動要支援者登録状況。

答 令和4年6月1日現在の登録者数は999人。

問 「個別避難計画」作成の時期。

答 なるべく早い段階でモデルケースの設定など小さい単位でスタートさせ、町全体に広げるよう検討する。

問 防災と福祉の情報共有状況。

答 福祉関係会議へ防災関係職員が参加するなど情報を共有している。今後は、より横断的に情報共有と連携を図っていく。

問 福祉施設の防災訓練実施状況の把握。

答 町内の高齢者・障がい者の入所・通所施設に対しては、町職員による実地指導や県職員による運営指導の際に、防災訓練の実施状況を確認しており、いずれも適正に実施されていることを把握している。

町自立支援協議会で協議している障がい者施設での災害時対応や、防災情報などを町内各施設へ提供し、助言や指導に努めるとともに、施設から町へ防災訓練の協力依頼があった場合には、防災交通課と連携し対応する。

問 災害弱者の防災訓練参加の見解。

答 福祉施設と協力した福祉避難所開設訓練、各地区での要支援者声掛け訓練等を実施していきたい。

問 交流センターの一部を福祉避難所にできないか。

答 災害が発生した際に知識と経験を持ったスタッフと必要な設備を交流センターに集めることが困難なため、福祉避難所として開設することは考えていない。



都築 清子 議員
(公明党)

災害時を想定した環境整備は

行政協力員とメール・LINEなど活用する



防災・行政アプリ「アグナビ」から緊急注意情報や災害情報が配信されるが、その情報が受信できないとしたら救える命も助からない可能性がある。

の兼ね合いもあるため、関係部署と協議をしながら調査研究を行う。

問 行政協力員へ配布のタブレットの利用状況。

答 メールを送受信、LINE・ZOOMなどのアプリを利用。

問 アグナビ情報発信手順。

答 緊急地震速報や大雨警報などは自動即時配信。防災行政無線と連動した配信、職員の入力による配信方式がある。

今後とも操作説明会を開催し、非常時の活用が可能となるよう推進する。

問 避難所に指定されている公民館等へのWi-Fi環境が必要だが町の見解。

答 Wi-Fi環境はあった方がよいとは考えられるが、避難所となっている公民館以外の町施設と

若手職員でICT推進委員を構成し情報発信、受信ができる人を増やせないか。

情報発信等は、すべての職員が対応可能な操作に不慣れた職員はDX推進ワーキンググループのメンバーがサポートする。



コロナウイルス等相談窓口設置を



保健センターで対応している

とどまるところを知らないコロナウイルス感染拡大は、町民の最大の関心事である。

私は約1カ月前、発熱が4日間程続き、私の親族の中でも陽性者が出ていたこともあり、コロナに感染したのではないかと疑ったが、のどの痛みや咳等もなく悪化に至らず、感染せずに普通の生活に戻ることができた。

そこで、発熱が続いた間は、次のような心配事があった。

- ・PCR検査をどこで受けられるか。
- ・どこの病院へ行ったらよいか。

・正確な罹患、その他の判定はどこで受けたらよいか。

今、町内には、このようなコロナウイルスに感染したのではないかと心配している町民も数多くいると思う。現在の保健センターでは、ワクチン接種の予約ですら、電話がつかぬがりにくい、接種会場である病院も適切な

指導が受けられない状況の中、保健所に相談する前に、気楽に相談できる窓口が必要である。

問 感染有無の不安を取り除く、町内に気楽に相談できるコロナ感染相談窓口を開設すべきではないか。

答 相談窓口は、特別に設置していないが、コロナに関する問い合わせに対しては、保健センターで対応している。

発熱時の医療機関の受診相談など、本来、県が行うことについても可能な限り対応しており、買い物代行等町独自の支援も実施している。

コロナワクチン接種予約は、接種券を小分けして発送し、予約が集中しないよう改善した。

今後もコロナ関連の相談に関しては、丁寧な対応を心がけていく。



澤田 道孝 議員
(佐和の会)

「非核平和都市宣言」の標語塔の設置を

宣言することが先決である

6月の定例会に非核平和都市宣言の標語塔を設置してはと質問をしたが、

「町制70周年等の節目の年に、平和を願う町、ワールドピースタウンと宣言することを検討していきたい」と回答があった。

しかし設置するということは断言されず、是非この標語塔の設置を約束して頂きたい。現在ウクライナとロシアの戦争が続いており、日本国民として本町の非核平和都市宣言は必須事項である。

日本は世界唯一の被爆国であり、この宣言をすることによって、世界に平和を求める阿久比町と

して最も意味のあるものである。

問 役場敷地内に「非核平和都市宣言 阿久比町」とする標語塔の設置について、どのような議論がなされているか。

答 宣言の目的は、世界平和を願うことで、標語塔の建設は、宣言をする記念と啓発するための手段。

宣言することが決定していない現時点で標語塔についての議論をしていないし、設置することについて確約することもできない。

※非核平和都市宣言している自治体

愛知県では、6市5町。
近隣では、半田市・東浦町・武豊町が含まれる。
全国で、1県・199市・7区・119町・21村。
令和4年4月1日現在 日本非核宣言自治体協議会



災害の予防保全は



阿久比町国土強靱化計画を推進する

問 町や地区の防災訓練等、今までの対策は、災害避難に力点が置かれているが、未然に防ぐ対策をどうとるかも重要なテーマである。今年の7月豪雨では、町内でも道路等の浸水・陥没や住宅地での土砂崩れが発生した。国の国土強靱化計画は、昨今の過去に例を見ない気象現象に対し、各自治体に何を予防保全していくのか考えさせる機会となっている。

答 **総** 本町の計画の骨子として、阿久比町国土強靱化地域計画を策定し、「人命の保護が最大限図られること」等4つの基本目標を掲げ、リスクシナリオごとに推進方針を設定している。

問 住宅地の土砂災害危険区域や急傾斜地に対し、どのような計画があるか。

答 **建** 急傾斜地法による整備済箇所は7箇所、今年度は萩白山西地区で事業に着手している。県のハード整備には多くの時間を要するため、土砂災害防止法に基づき危険の周知、警戒避難体制の整備などのソフト対策を推進する区域として土砂災害警戒等を県が指定しており、全戸配布した防災マップで周知している。

問 住宅地の排水路に対し、どのような計画があるか、もしくは必要と考えるか。

答 **建** 水路改良工事は地区の要望に基づき整備しており、雨水排水計画に基づいた整備は行っていない。住宅等の開発行為は県基準に基づき計画、整備されている。

問 小中学校の通学路の安全性は、どのように担保されているか。

答 **教** 通学路は安全であると考え、場所を各学校で指定している。アグナビ、情報共有システムを使い、保護者や見守り隊の皆さんに情報発信をしていくので、ご協力をお願いしたい。



新美三喜雄 議員
(新済会)



整備が待たれる南部坂

問 中学校の通学路である南部坂の安全性は。

答 **教** 通学路に面する一部分は私有地。砂防や治山の観点も含め担当部署の意見、地域の要望などを整理し、安全に対する整備の必要性を判断していく。

次世代につながるために

各政策がすべてである



地区や行政では、次世代につながる人材育成や人材の発掘など重要なテーマとなっている。未来を動かす力は、まず人であり、活性化するための環境づくりも重要である。

問 地区や各種団体に対し、行政として何か仕掛けを考えているか。

答 **総** 住民税1%町民予算枠制度、ワークショップ、リーダー研修会など

問 本町の首長として、「次世代につながる」ことを、どのように考えて政策に結びつけていきたいか。

答 **町長** 5期目の構想として示した政策の一つが次世代につながるためのものであり、実績で判断いただきたい。生物学のホメオスタシスの能力を社会に持たせることが肝要である。

ホメオスタシスとは？
環境の変化から体の恒常性を保つ仕組み



あの答弁は どうなった!

01 環状線開通への半田市との連携

議会だより 第177号掲載 (2018年5月1日)

Q 半田市との連携と環状線開通の実現可能な計画

A 連携はない。県の早期着手を要望している。町内部においても実現可能な案を検討している。

現在は

新半田病院は建設予定地が半田市運動公園東に変更となり、救急搬送道路の整備が課題となったが、2025年の開院までに環状線を開通させることは困難なため、半田市と連携し、現道の暫定的な整備を進めている。

02 町道の整備・適正管理

議会だより 第178号掲載 (2018年8月1日)

Q 道路改良用地の取得状況と今後の見通し

A 今後も地区からの要望やご協力により計画的に進めていく。

現在は

道路改良用地取得については、各年度の「主要施策の成果報告書」に記載のとおり。今後も地区からの要望、地権者の協力により計画的に進めていく。

03 がん教育とがん患者支援

議会だより 第180号掲載 (2019年2月1日)

Q 治療で免疫を失った子どもの予防再接種の助成

A 来年度に向けて助成を行う方向で進めている。

現在は

令和元年度から助成制度を創設し、接種費用を助成している。令和2年度に2件、令和3年度に1件の助成を行った。

04 放課後児童クラブ体制

議会だより 第181号掲載 (2019年5月1日)

Q 長期休み期間、町で行えないか

A 関係部局や既存の委託事業所などと共に協議検討が必要。他市町の状況も参考に検討する。

現在は

令和2年度から英比小学校の図書室にて、夏休みと冬休みの期間のみ開所する「長期休暇限定児童クラブ」を、NPO法人へ委託し実施している。令和2年度は5人、令和3年度は23人が利用した。

町民の声

私は言いたい!

町議会への期待・要望・知りたい事 及び 地区の自慢 など

ごんぎつねの森

植地区 榎本 和俊

ごんげん山保存会は、権現山にある植公園を、多くの皆さんが安全で安心して利用できる憩いの場にするを目的として活動しており、会員は43名です。

約40年前に植公園が整備されたときに、先輩たちが40本の桜と、グラウンド周囲と南側斜面に彼岸花の球根を植栽したことで、今では素晴らしい景観を見ることが出来ます。

公園の四季の花は、春は桜・つつじ、秋には彼岸花を満喫することができます。彼岸花の季節には、童話作家新美南吉が描いたごんぎつねの里山である権現山を訪れる



映える彼岸花



花壇の手入れ

方々に、無料でお茶の接待をしています。本年は、ごんサミットで協議を重ね、9月23日から27日まで「ごんの秋まつり in ごんげん山」を開催することができ、町内外から多くの方に来所いただきまして。

花壇の手入れをしているときに、散歩やジョギングの途中に植公園で休息される方から「良い公園ですね。また来ます。」と声をかけて帰って行かれます。この一言がとても嬉しく、作業の疲れなど吹き飛んでしまい、次の作業の励みになります。

今後とも阿久比町、阿久比町観光協会等と連携し、皆様から愛されるごんげん山（植公園）としていきたいと思

ます。
タイミングが良ければ「ごんぎつね」に会えるかも。



ごんの花嫁行列

《ごんサミット構成団体》

- ・ あぐいふるさとガイド
- ・ ごんげん山保存会
- ・ 矢勝川の環境を守る会
- ・ ごんばあば
- ・ ごんのふるさとネットワーク
- ・ 阿久比町観光協会

皆様からの原稿を募集しています!

議会への期待・要望や地区の出来事・自慢等お寄せ下さい
応募は、議会事務局まで

電話 0569-48-1111 (内線1401)
FAX 0569-48-1711
E-mail: gikai@town.agui.lg.jp

編集後記

読書の秋、食欲の秋と秋本番となりました。ウィズコロナで、徹底した感染対策の中、4年ぶりに、町民スポーツフェスティバルレクリエーション大会が開催された事は、大会関係者の努力の賜物として敬意を表します。出場された町民すべてが、久しぶりに、そろってスポーツに親しみ、町内各地の方と出会い、大変満足されたのではないかと、思います。さて、いよいよ町長選挙も間近となりました。選挙権のあるすべての住民で、これからの町政を任せられる人を選び、みんなが投票する事が、本町の未来につながる第一歩になるでしょう。

議会だより編集特別委員会

- 委員長 新美三喜雄
- 副委員長 小柳みゆき
- 委員 久保秋男
- 委員 瀧塚政明
- 委員 竹内卓美
- 委員 山本良輔